

2023年2月吉日

卒業論文発表会用スライドサンプル
—副題がある場合はこんな具合に—

学籍番号 氏名

研究背景

まず研究背景を述べる。

研究目的

次に自身の卒論の研究目的を書く。

行間が詰まり気味なので，意識的に空ける場合は
`\vspace{1zh}` などと書いてみる。

特にこんなことをやる。

式は通常どおり L^AT_EX 表記で

スライドでは数式番号はつけなくてよい。(スライドで発表中に式番号で引用することはないから。)

$$ds^2 = g_{\mu\nu} dx^\mu dx^\nu$$

$$t' = \frac{t - Vx}{\sqrt{1 - V^2}}$$

$$x' = \frac{x - Vt}{\sqrt{1 - V^2}}$$

図の挿入

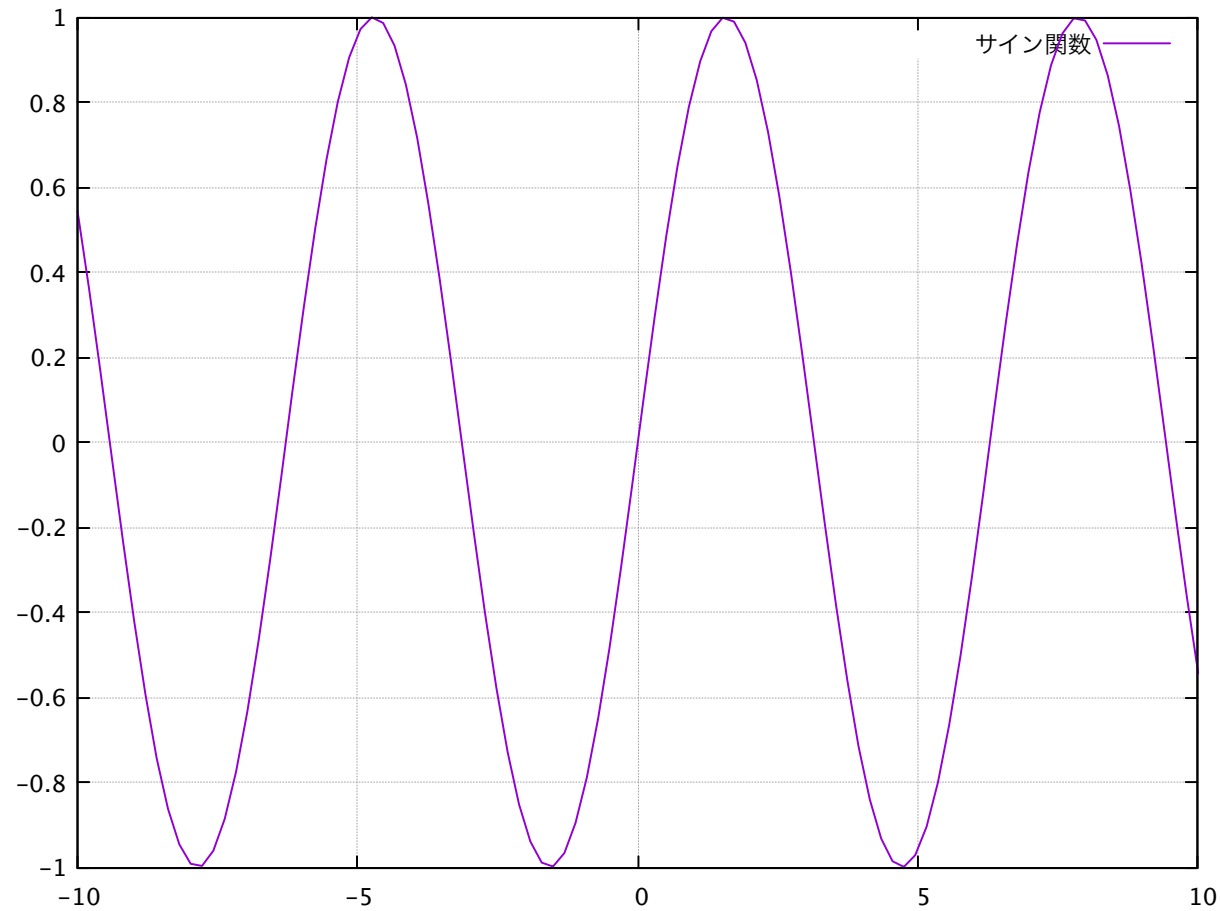


図1 サイン関数のグラフ

結論

以下のことがわかった。

- こんなことや...

結論

以下のことがわかった。

- こんなことや...
- あんなことや...

結論

以下のことがわかった。

- こんなことや...
- あんなことや...
- そんなことまで。

今後の展望

中央揃えする例

弘前大学工学部地球環境防災学科

質問があった場合に...

前ページ「今後の展望」のスライドで発表は終わりだが、質問があった場合に（想定される質問に対して準備できる場合は）使うかもしれないスライドを最後のほうに予め仕込んでおく、という高度なテクニックもある。